

景況レポート・6月

6月の県内景況は、前月に引き続き、円安の影響による燃料費・原料費の高騰等の声があがる。

情報連絡員による平成25年6月の県内中小企業の景況は、業界全体として「低調」とするところが45.0%（前月比+8.3）、「横這い」は33.3%（同-10.0）、「好況」は21.7%（同+1.7）となっており、業界全体の「景況感DI」は-23.3（同-6.6）となっています。

1. 全産業の項目別前年同月比DI値の動き

◇「在庫数量」「収益状況」「資金繰り」「設備操業度」「資金繰り」が前月と比較して減少しています。特に「設備操業度」が10ポイント以上減少をしています。

◇「売上高」が前月のプラスのDI値に転じました。

2. 業種別の「業界の景況」

◇前年同月と比較して、木材木製品製造業、その他の製造業、サービス業、建設業は「快晴」または「晴れ」、繊維製品製造業、鉄工機械製造業は「薄曇り」または「曇り」、その他の業種は「雨」または「大雨」となっています。

※DI値 +30以上「快晴」 +10～+30未満「晴れ」 -10～+10未満「薄曇り」
-30～-10未満「曇り」 -50～-30未満「雨」 -50以上「大雨」

3. 個別の報告の概要

◇食品製造業、木材・木製品製造業より、円安による原材料高騰等の影響について4月より引き続き報告があります。

◇降水量が少なかったため、青果物卸売業・小売業においては価格高騰の報告があります。

◇アベノミクスの効果が地方では感じられないとの声が、廃棄物収集運搬業から報告があります。

◇トラック運送業からは3月より人手不足が生じており、建設業においても人手不足が生じているとの報告があります。

来月の見通しは、好転、やや好転の見込みとの回答が26.7%（前月比0.0）と変動しておりません（好転の回答0件、やや好転の回答16件）（製造業7、非製造業9）。また、やや悪化、悪化の見込みは、18.3%（前月比-5.0）と減少しております。変わらないが、55.0%（前月比+5.0）と増加しております。

平成25年6月の景況について、情報連絡員からの報告は以下のとおりです。（回収率100.0%）

木材・木製品製造業

<製材業>

梅雨時は例年丸太の出材が減少する時期であるが、今年は間伐材丸太の入荷量が増加し、供給過剰感から丸太価格が値下がり傾向にある。一方製材品等の需要は5月に比べると一服感はあるが、依然として復興関連の公営住宅工事が出始めたことで荷動きは順調である。今後木材利用ポイントの運用開始（7月1日）を間近に控え、国産材（県産材）の引き合いが期待される。

<外材輸入>

輸入原材料のコストアップからくる製品価格の上昇は5月には受け入れられたが、6月に入り荷動きが緩慢であり、さらなる値上げが必要であることから7、8月にかけ価格転嫁が課題である。

鉄鋼・金属・一般機械製造業

<鉄工>

（郡山地区）

建築鉄骨等の復興関係はいいが機械加工、部品加工等はなかなか厳しい。

<各種プラント機器>

当組合のプラント設備関連業界は、売上高、収益状況とも前月比で横ばい傾向で、前年同月比でみてもあまり変動はない。一方、見積もり引き合いはやや好転状況にあるが受注につながるかは不透明な状況である。

繊維・同製品製造業

<ニット>

秋冬物の生産で各社とも非常に忙しい状況である。

<縫製品>

夏物の生産が終わり、秋冬物の生産に入ったが、全体の受注数は前年より少なく、本格的な展開にはなっていない。今後の秋冬物の受注動向が気になる場所です。

紙・紙加工品製造業

<紙器・段ボール箱>

昨今の円安・株高はどうか。上昇したり、下落したり本当に景気はよくなっているのでしょうか。私たち紙器業界ではまだまだ実感がありません。逆に生産コストを押し上げる要因が出てきて、経営を圧迫しないかと心配し警戒しています。しかし世の中のムードに乗ることも大事であり、景気と病気は気からといわれるように何事もプラス志向で一步一步前に進みたいと思っている状況です。

印刷業

<印刷>

印刷需要は前年対比で伸び悩んでいる感じがあります。業界としても先行きの景況見通しは低調になっています。

窯業・土石製品製造業

<陶磁器>

NHK大河ドラマ「八重の桜」の影響で会津若松市は大盛況だが、当産地（会津美里町）まではその波がやってくるまでではない。

<砕石>

（県北地区）

1. 当月売上高の前月比 約16%の減
2. 当月売上高の昨年同月比 約63%の増
3. 全数量の昨年対比 約63%の増
4. 原因・状況 放射線除染工事等への出荷は多いが、一部地区では除染工事が終了してきているため、前月より減少した。

<生コン>

平成25年6月の組合員生コン出荷数量は、163,383㎥と対前年同月比28.6%の増。東日本大震災等で被害を受けた道路、建物、港湾等補修工事での増加が主たる要因。出荷数量内訳は、民需が対前年同月比2.4%の増、官公需が50.0%の増であった。

■民需の動向

対前年同月比 2.4%の増

①対前年同月比増加地区

<白河地区> 32.3%の増

工場、倉庫新築工事等

<いわき地区> 2.8%の増

工場新築工事等

<相双地区> 41.4%の増

原発保安対策工事、常磐道工事等

②対前年同月比減少地区

<県北地区> 2.6%の減

工場、店舗建替工事等

<県中地区> 14.6%の減

工場、店舗新築工事等

<会津地区> 7.7%の減

民間住宅工事等

■官公需の動向

対前年同月比 50.0%の増

①対前年同月比増加地区

<県中地区> 64.0%の増

再生可能エネルギー研究所工事、災害復旧工事等

<いわき地区> 141.0%の増

小名浜港7号追悼地区岸壁復旧工事、小名浜西防波堤工事等

<相双地区> 84.8%の増

海岸保全施設整備工事、相馬港災害復旧工事等

②対前年同月比減少地区

<県北地区> 0.2%の減

栗子トンネル工事、東北道福島JCT工事等

<白河地区> 14.3%の減

県営、市営住宅災害復旧工事等

<会津地区> 23.4%の減

道路・橋梁復旧工事等

食品製造業

<漬物>

会津、いわき地区は良いが、全体的には厳しい。東京や他地域への販売をしている中堅企業が厳しい。輸入原料が円安により高騰し始めた。

<味噌醤油>

円安の影響により、外国からの依存せざるを得ない主原料（大豆）や副原料のものなどが、価格上昇の兆しが多々出ている。依然として出荷量や売上が伸び悩み続けており、県産原料の製品は風評被害の傾向があり、厳しい状況。

<菓子>

気温が高い日が続く、菓子類は敬遠され気味。地産の果物、「さくらんぼ」が好調とのこと。少なからず影響がある。

<酒造>

吟醸、純米は順調に伸びている。夏から秋にかけてイベントが多く期待している。

<食品団地>

県内の消費は依然として停滞し、原材料の高騰も続き7月からは値上げする商品があるなど、厳しい状況が続いている。ただ、6月には県内において大規模なイベントが開催され、今後もいろいろなイベントが継続的に開催されていくと、消費も増えていくと思われる。

小売業

<石油>

元売の仕切価格が上昇する中、小売価格は下落している。全体的な需要の減少、さらには梅雨時の洗車等、油外収益の減が重なり、経営を圧迫している。

<青果>

5月に入り、梅の販売が始まった。低温の影響があったものの、豊作だったため、値崩れした。単価が安くなったが売れず、梅を漬ける消費者の減少や、風評被害もあり、在庫が多くみられた。野菜についても前月書いたとおり雨量が少ないため、単価は少しずつ上昇している。来月には福島の桃の販売が始まるが、取扱高が増加するよう期待したい。

<電機>

合展、個展を各地で開催、販売店に大きなムラがある。二世の働きでも大きな差が出ている。後継者がいない店が一般に伸び悩んでいる。

運輸業

<トラック運送>

（県北地区）

トラック運送業界は、燃料費負担、高速料金が高値水準で推移している中、風評被害による需要の減少や熾烈な競争、運賃の低迷が続く、加えて電力料金の高騰、金利の高騰、安全・環境へのコスト負担増等厳しい環境におかれて、「アベノリスク」をもちに受けている。業界の健全な維持運営を図るためには、適正な対応策、燃料価格および高速料金の負担減の対策を講じてほしい。（県中地区）

やがて仮置場から中間貯蔵施設までの汚染物質の輸送が始まると思われませんが、地元運送業者はドライバーの人手不足で受注できるかどうかは不透明。除染と同じように大手ゼネコンに取られる可能性が大きい。

<ハイヤータクシー>

前月比では微増であっても前年比では減少。6月1日は六魂祭で動きが良かったが6月2日は動かなかった。

サービス業

<クリーニング>

クリーニング店の格差が広がっているように思う。繁盛店になるための努力を常に行っている店、また固定客を守り現状維持の店等があるが、従業員もすべてパートかアルバイトでの雇用が現状である。

<旅館業>

(土湯温泉)
長野県のある高校から教育旅行として、再生可能エネルギーの見学依頼が旅行会社を通じて打診があったが、一部の保護者の反対により、中止となってしまった。風評被害が根強く残っていると改めて感じさせられた。

<理容業>

暑い日が続き夏向きのヘアーが好調である。梅雨入り後も雨の日の数が少なく理容にとっては良い状況だった。雨が降ったり肌寒い日が続けば客足は鈍る。夏は暑い方がいい。カラーも若者を中心に好調である。季節感を生かすすっきり爽やかなヘアーを提案し、元気で夏を乗り来ってもらえるよう組合をあげて頑張っていく。

<廃棄物収集運搬業>

組合における震災事業はだいぶ落ち着いてきました。水産業等も先行きが見えないこともあり、震災事業の終了時には不安が残ります。中央では「アベノミクス」などと言っていますが、地方では実感はありません。

商店街

<福島市>

アベノミクスの効果はいつ出るのか、今月も売上の低調は続いている。

<郡山市>

6月は、うすい百貨店で「夏の北海道展」があったせいなのか、微増になった。しかし、静かな雰囲気はあまり変わらないように見受けられます。商店街も大きなイベントがなく、土日の歩行者天国も寂しい感じがします。現在商店街には新たな活性化事業が出てきているので、ここは何か新規の取り組みが必要ではないかと感じます。

<南相馬市>

相馬野馬追も近づき、待全体が活気づく時期に入り、中元売り出しの店舗も増加してきた。当組合もコミュニティ復興事業と商店街スタンプ事業を地域商業活性化事業の補助のもと、進行中。

<会津若松市>

6月29日～7月7日まで恒例の七夕飾りが神明通り商店街で行われた。今年のテーマは、「八重の桜」。各店思考を凝らしたデザインが目をついた。人出の方も少しではあるが増えたと思う。

<いわき市>

梅雨入りしても雨の日の数が少なく、商店街にとっては幸いだった。ただ気温が上がらず夏商品の動きが遅い。後半から、ファッション関連を中心に夏のセールを開催する店もあり、買い物袋を下げて歩く方も多くみられた。郊外店もチラシ攻勢をかけ、本格的にボーナス商戦、夏商戦へのスタートである。7月はオールスター戦開催など復興イベントもあるので、平の街でも盛り上がり期待している。

卸売業

<卸売業>

(県中地区)

食品については、例年になく暑い日が続いたことから、水物商材が好調。ただし、7月からはメーカーによる一部商材の値上げが決まっており、需要の低迷に対し、警戒感が強まっている。一方、青果物については天候の影響により一部の商材の仕入単価が乱高下したが、大きな影響はなかった。しかしながら、消費者の手控え感が払拭されておらず、販売価格は若干値崩れをおこしている。

<再生資源>

福島地区は、6月は毎年周辺の農業者が多いので物品を買い入れする時間が、農繁期と重なり、売上が一年の中(普通は2月、8月)で6月が一番減少する。何十年もこの業種に携わってそれはいつも感じていますが特に福島は放射能の原発問題が何十年も解決しない限りギリ貧状態が続いている。営業努力をしても何か身震いを感じる景気状況にある。これからもそのような報告をするのがとてもつらい。

<青果>

野菜産地の降雨量が少なく干ばつのため、野菜入荷量が減少、高値となり売上・収益が増加しました。

建設業

<建設業>

(県一円)

平成25年度の通常の建設工事の発注状況は、前年比では横ばいもしくは減少傾向にある。しかし除染業務等復興関連事業の増加により、建設産業の売上が押し上げられている。また、労働者不足も生じている。

(県南地区)

住宅除染がメインの売上となっていて、さらに大規模な除染業務委託の発注が続いており、一部の自治体では地元建設業者だけでは対応できず、大手ゼネコンが受注している。企業立地補助金の指定を受けた工場や倉庫の新築が増加していて、民間建築工事が住宅新築を含めて好調である。

<管工事>

給水・排水設備申請とも前月比および前年同月累計対比で増加している。

<専門工事>

梅雨入りに伴って急激な気温上昇と湿度上昇が重なり、熱中症への対応が急務となっている。今のところ、雨天・曇天が多いが梅雨明けに伴う晴天には十分な注意が必要となると思われる。アベノミクス効果に伴う為替変動については材料高となって悪影響を与えており、復興に伴う仕事が継続している一方で景気が良くなっているという感覚は低く、物価上昇に伴う生活苦を懸念する声が増えている。

景況天気図 6月

天気図の見方

各景況項目について「増加」(または「好転」)業種割合から「減少」(または「悪化」)業種割合を差し引いた値(D・I値)をもとに作成。その基準は右表のとおりである。

D・I値基準値

☀ 快晴	30以上	☁ 曇り	-30~-10未満
☀ 晴	10~30未満	☔ 雨	-50~-30未満
☁ うす曇り	-10~-10未満	☔ 大雨	-50未満

項目別DI 業種区分	売上高		販売価格		収益状況		資金繰り		雇用人員		業界の景況	
	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比
食料品製造	☔	☔	☁	☁	☔	☔	☔	☔	☁	☁	☔	☔
繊維製品製造	☀	☔	☁	☔	☔	☔	☁	☁	☁	☔	☀	☁
木材製品製造	☔	☀	☁	☀	☔	☔	☔	☁	☁	☁	☁	☀
鉄工機械製造	☔	☔	☁	☁	☁	☔	☔	☔	☁	☔	☁	☁
その他の製造	☔	☀	☁	☀	☔	☀	☁	☀	☔	☁	☁	☀
卸売業	☔	☀	☔	☁	☔	☔	☔	☔	☁	☁	☔	☔
小売業	☔	☔	☔	☁	☁	☁	☔	☔	☔	☔	☔	☔
商店街	☁	☁	☔	☔	☔	☔	☁	☔	☔	☔	☔	☔
サービス業	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☔	☔	☀	☀	☀	☀
建設業	☀	☀	☁	☀	☁	☀	☁	☀	☁	☀	☁	☀
運輸業	☀	☔	☔	☁	☔	☔	☔	☔	☔	☔	☔	☔

働くみんなに、大きな安心。

中退共は、半世紀で100万社以上の中小企業にご利用いただいている国の退職金制度です。

中退共 CHU TAI KYO 中小企業退職金共済制度

安全 国の制度だから安心 新規加入や掛金を増額する場合、掛金の一部を国が助成します。

有利 掛金は全額非課税 手数料もかかりません。

簡単 社外積立で管理も簡単 納付状況や退職金試算額を事業主さんにお知らせします。

詳しくはホームページをご覧ください。 中退共 検索

中退共 (独)勤労者退職金共済機構 東京都豊島区東池袋1-24-1 TEL.03-6907-1234 FAX.03-5955-8211